

ドライブ レコーダー

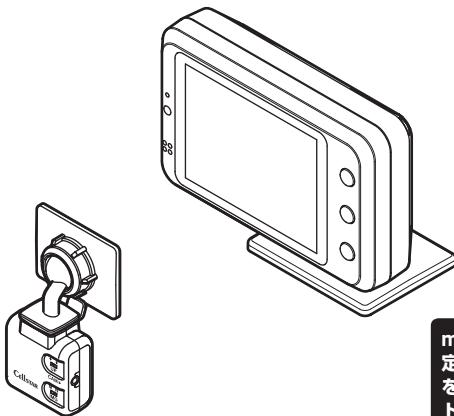
DRIVE RECORDER

CSD-610FHR[®]

取扱説明書 本体編

この度は、当社製品をご購入いただきまして、まことにありがとうございます。ご使用になる前に、本書をよくお読みになり、本機を正しくお使いください。なお、お読みになったあとは、大切に保管してください。

本機は、日常の運転をドライブレコーダーで記録し分析することで、安全運転についての改善や、効果的な運転管理を推進し、交通事故の防止および安全運転を促進する目的で製造販売しております。



microSDカードは
定期的（1週間に1回
を推奨）にフォーマッ
トしてください。

Copyright © 2016–2021 CELLSTAR INDUSTRIES Co.,Ltd. All Rights Reserved.
Cellstarは、セルスター工業株式会社の登録商標です。

microSD™はSDアソシエーションの登録商標です。

microSD Logoは登録商標です。

Exmorはソニー株式会社の登録商標です。

その他会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。



専用ビューアソフトと専用ビューア説明書は付属のmicroSDカードに
格納しています。ファイルを削除した場合、下記URLよりダウンロード
してください。

<http://www.cellstar.co.jp/products/recorder/>

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

サービス

はじめに

microSDカードのメンテナンス 4

フォーマットの準備	4
本機を単体で使用する場合	4
相互通信対応レーダーディテクターと接続している場合	4
相互通信対応レーダーディテクターとの接続	5
相互通信機能について	5
準備	5
レーダーディテクターとの接続	5
レーダーディテクターの外部入力設定	6
設定の変更方法	7
再生モード	8
相互通信時のパーキングモードについて	9
取り付け方法（相互通信）	9

安全上の注意 10

microSDカードについての取り扱い注意事項	12
-------------------------	----

使用上の注意 13

録画についての注意事項	13
取り付けについての注意事項	13
パーキングモードについて	13
ディスプレイについて	13
DCコードについて	14
アイドリングストップ車での使用について	14
専用ビューアソフトについて	14
カメラレンズの注意事項	14

本体/付属品 15

付属品	15
オプション品	15

各部の名称と機能 16

本体	16
別体カメラ	16

取り付けと準備

取り付け方法 17

フロントガラスに別体カメラを設置する場合	17
取り付け位置（正面）	17
取り付け位置（側面）	18
取り付け方法	18
ダッシュボードに別体カメラを設置する場合	19
取り付け位置（側面）	19
リアに別体カメラを設置する場合	20

取り付け位置（正面）	20
取り付け位置（側面）	20
取り付け方法	20
本体の設置	21
取り付け位置（側面）	21
取り付け方法	21
本体と別体カメラを接続	22
接続方法	22
別体カメラの設定	22
配線処理	23
ヒューズが切れた場合	23
マウントベースから本体、別体カメラを取り外す	23
microSDカードの挿入および取り出し	24
microSDカードの挿入	24
microSDカードの取り出し	25

基本操作

製品の使用方法	26
電源のON/OFF	26
SDカードのフォーマット案内	26
エラーメッセージ	26
ディスプレイ	28
録画方法	29
録画モードについて	29
クイック録画機能（手動）	30
撮影機能（手動）	30

各種設定

各種設定の変更	31
設定の変更方法（例：アイコン表示）	31
設定一覧	32
画像モード設定「カスタム」時、設定内容一覧	34
画像モード設定「標準/高画質/長時間」時、設定内容一覧	34
3Gセンサー感度「カスタム」時、設定内容一覧	34
画像モード設定	35
その他の機能	36
再生モード	36
パーキングモードについて	37
パーキングモードの動作	38
外部モニター表示	39

日時の設定	40
システムリセットと強制初期化	41
システムリセット	41
強制初期化	41
フォーマット	42
音量調整	43
HDR機能について	43
ドライブレコーダー専用ビューアソフトについて	44
専用ビューアソフトの動作環境	44

困ったときは

故障かな？と思ったら	45
------------	----

その他

製品の仕様	46
microSDカードのデータについて	48

アフターサービス

アフターサービスについて	49
修理に関して	49
修理受付票	50
保証書	裏表紙

microSDカードのメンテナンス

microSDカードに保存されたデータはバックアップして、定期的に本体にてフォーマット（推奨：週1回）して使用してください。外部環境、または長時間使用している間に、データが削除されるおそれがあります。

フォーマットの準備

付属のmicroSDカードをフォーマットすると記録ファイルや専用ビューアソフトは、全て消去されます。あらかじめパソコンなどにバックアップすることをおすすめします。

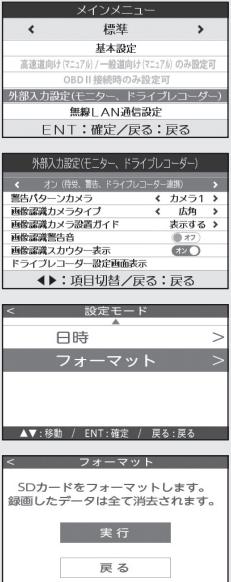
本機を単体で使用する場合



- 1 本機の動作中に**Bボタン**を長押し（10秒）する。
- 2 **Aボタン**または**Cボタン**を押して**【実行】**を選択し、**Bボタン**を押して確定する。
【戻る】：通常録画に戻る
- 3 **Aボタン**または**Cボタン**を押して**【実行】**を選択し、**Bボタン**を押して確定する。
【戻る】：「フォーマット」画面に戻る

相互通信対応レーダーディテクターと接続している場合

レーダーディテクターの画面でリモコン操作をおこないます。この時、本機のボタンでは操作することはできません。



- 1 **ENTボタン**を押してメインメニュー画面に切り替え、「外部入力設定（モニター、ドライブレコーダー）」を選び、**ENTボタン**を押す。
- 2 ▶▼ボタンを押して「ドライブレコーダー設定画面表示」を選び、**ENTボタン**を押す。
- 3 ▶▼ボタンを押して「フォーマット」に移動し、**ENTボタン**を押す。
- 4 **ENTボタン**を押して、フォーマットを実行する。
確認の画面が表示したら、再度、**ENTボタン**を押す。
ディスプレイには「フォーマット実行中」と表示されます。
フォーマット完了後、自動的に常時録画に戻る。

相互通信対応レーダーディテクターとの接続

相互通信機能について

本機と当社製相互通信対応レーダーディテクターを当社製レーダーディテクター相互通信用コードで接続することにより、設定画面やカメラ映像及び再生映像をレーダーディテクターの画面に表示させることができ、レーダーディテクターのリモコンから操作できるようになります。また、GPSの位置情報や電源、OBDⅡの速度データもレーダーディテクターより供給され、操作音もレーダーディテクターから出力されます。

- * 撮影モードは、相互通信時は使用できません。
- * レーダーディテクターのGPSから録画データに日時情報を入力できません。必ず本機の日時を設定してください。

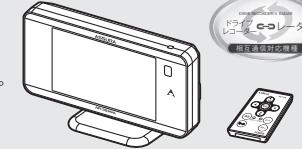
準備

本機能を使用するには、当社製相互通信対応レーダーディテクターと当社製レーダーディテクター相互通信用コードが必要です。

- レーダーディテクター相互通信用コード
- 当社製相互通信対応レーダーディテクター



※レーダーディテクター
本体のイラストは、
モデルにより異なります。



本機と相互通信対応レーダーディテクターとの組み合わせによりオプションの接続コードが異なります。詳しくは、当社ホームページをご覧ください。

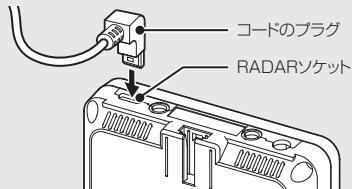
<http://www.cellstar.co.jp>

△ 注意

- ・セルスター製ドライブレコーダー専用レーダーディテクター相互通信用コードです。それ以外の製品に使用することはできません。
- ・レーダーディテクター相互通信用コードは12V車専用です。レーダーディテクターを24V車に接続した場合、本製品を取り付けないでください。故障の原因となります。
- ・レーダーディテクター相互通信用コードを改造し使用すると、レーダーディテクターやドライブレコーダーの故障の原因となります。
- ・レーダーディテクター相互通信用コードのケーブルは地デジのアンテナ部分（ブースター及びアンテナ線）に接触しないよう、できるだけ離して配線してください。

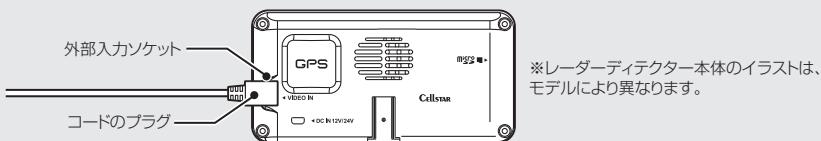
レーダーディテクターとの接続

- 1 レーダーディテクターのDCコードを外し、レーダーディテクター本体の電源をOFFにする。
- 2 レーダーディテクター相互通信用コードのプラグをドライブレコーダー本体のRADARソケットに差し込む。



・プラグの向きとソケットの向きに気を付けて差し込んでください。
・相互通信用コードのプラグをドライブレコーダーのRADARソケット、レーダーディテクターの外部入力ソケットに「カチッ」と音がするまで差し込んでください。隙間があると接続不良になり、映像出力やリモコン操作などができないことがあります。

- 3** レーダーディテクター相互通信用コードのプラグをレーダーディテクターの外部入力ソケットに差し込む。

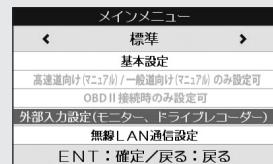


- 4** レーダーディテクターのDCコードを差し込み、レーダーディテクター本体の電源をONにする。

* レーダーディテクターから電源が供給されるため、起動に時間がかかる場合があります。

レーダーディテクターの外部入力設定

本機はレーダーディテクター相互通信用コードでレーダーディテクターと接続した場合、レーダーディテクターの画面でリモコン操作をおこないます。この時、本機のボタンでは操作することはできません。ご注意ください。



- 1** ENTボタンを押してメインメニュー画面に切り替え、「外部入力設定（モニター、ドライブレコーダー）」を選び、ENTボタンを押す。



- 2** ▶ボタンを押して設定内容を選び、ENTボタンを押す。

・オン（待受/警告/ドライブレコーダー連携）

相互通信機能をオンにします。待受画面を「カメラ」または「カメラ & フルマップ」に設定すると、本機のカメラ映像をレーダーディテクターの画面に表示され、本機のディスプレイはオフになります。

・オン（モニター）

相互通信する場合は選択しないでください。

* モニター中は、リモコン操作ができません。終了するには、戻るボタンを押してください。

・オフ

相互通信機能をオフにします。（工場出荷時の初期設定）

△ 注意

- レーダーディテクター相互通信用コードで本機とレーダーディテクターを接続し、レーダーディテクターのリモコンで電源をON/OFFしても、本機の電源は連動せず、供給し続けます。
- レーダーディテクターの電源をリモコンでOFFの状態からONにすると、本機が再起動します。
- レーダーディテクターの電源をリモコンでOFFにすると、本機へのGPS情報の供給がOFFになります。

設定の変更方法

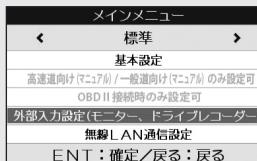
各設定メニューを変更する場合は、以下の手順でおこないます。

専用ビューアソフトで本体の設定も可能です。詳しくは、付属のmicroSDカードに収録している専用ビューアソフトの説明書をご覧ください。

* 設定中は、録画はできません。

* 設定メニュー画面にて1分以上操作がない場合は、自動的に録画モードに切り替わります。

- 1** ENTボタンを押してメインメニュー画面に切り替え、「外部入力設定（モニター、ドライブレコーダー）」を選び、ENTボタンを押す。



- 2** ▼▲ボタンを押して「ドライブレコーダー設定画面表示」を選び、ENTボタンを押す。



- 3** ▼▲ボタンを押して変更したい設定項目に移動し、ENTボタンを押す。



- 4** ▼▲ボタンを押して設定内容を変更し、ENTボタンを押す。



- 5** 引き続き他の設定を変更する場合は、戻るボタンを押してメインメニューに戻り、▼▲ボタンを押して設定メニューを選ぶ。



お買い求めいただいたて、初めてお使いになる場合

正しい記録ができるように、レーダーディテクター上のドライブレコーダーの設定にて、現在の日付および時間を設定してください。設定方法は40ページ「日時の設定」をご覧ください。

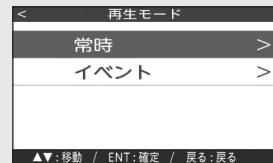
再生モード

本機で記録した映像は、レーダーディテクターで再生できます。

* 再生モード中は、録画はできません。



- 1 ドライブレコーダー設定画面表示から、「再生モード」に移動し、
ENTボタンを押す。



- 2 【常時】または【イベント】を選択する。
「再生ファイル」画面に切り替わります。
【戻る】:「再生モード」画面に戻る



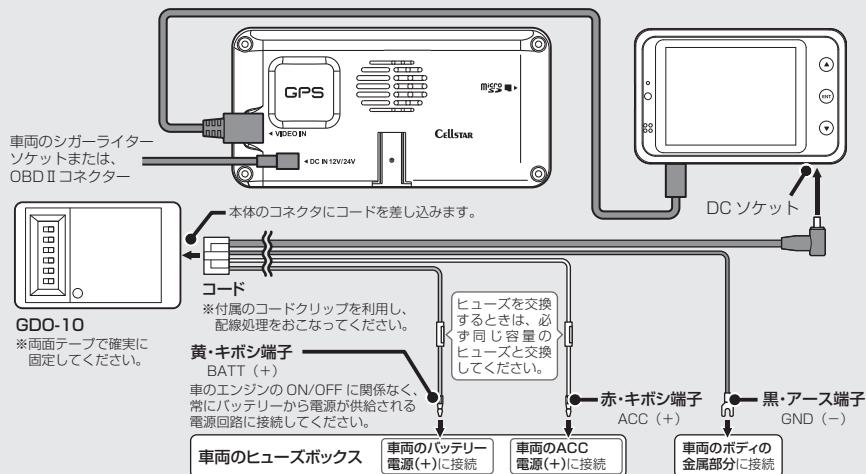
- 3 ファイルを選択する。
レーダーディテクターのディスプレイで再生が開始されます。
再生ファイルが多い場合は、▲▼ボタンを押して、
ページをスクロールさせます。
再生中にENTボタン:「再生ファイル」画面に戻る
- * ファイルは、記録された時間の順に表示されます。
 - * 再生ファイルは、常時録画で1分です。
 - * ファイル名は実際の製品と異なります。

相互通信時のパーキングモードについて

エンジンがOFFになり、レーダーディテクターから電源の供給がなくなると、GDO-10によって車両バッテリーからの電源供給に切り替わります。また、レーダーディテクターからGPS情報の供給もオフになります。

取り付け方法（相互通信）

レーダーディテクター相互通信用コードで本機とレーダーディテクターを接続した状態で、本機のDCソケットにGDO-10を接続します。



パーキングモードの設定方法はP7、P37-38を参照してください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明していきます。

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

△ 危険 誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が切迫して想定される」内容です。

△ 警告 誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

△ 注意 誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性または物的損害*の発生の可能性が想定される」内容です。
* 物的損害とは、車両・家屋・家財などに関わる拡大損害を示します。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

! この表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。具体的な強制内容は、近くに文章で示します。

🚫 この表示は、してはいけない「禁止」の内容です。具体的な禁止内容は、近くに文章で示します。

⚠ この表示は、気をつけていただきたい「注意」の内容です。具体的な注意内容は、近くに文章で示します。

△ 危険

! 本機は必ず定められた電圧（DC12V/24V）でご使用ください。

* 火災や感電、故障の原因となります。

! 運転中に本機を操作しないでください。

* 交通事故の原因となります。操作する場合は、必ず車を安全な場所に停止させ操作してください。

🚫 本機をエアバッグが作動する近くに設置しないでください。

* 事故発生時にエアバッグが正常に作動しないおそれがあります。または作動したエアバッグにより負傷の原因となります。

🚫 医療用電気機器の近くでは使用しないでください。

* ベースメーカー やその他の医療用電気機器に電波による影響を与えるおそれがあります。

🚫 水につけたり、水をかけたり、またぬれた手では絶対に操作しないでください。

* 火災や感電、故障の原因となります。

△ 警告

! 本機の取り付けは、必ずエンジンを切った状態でおこなってください。

* 車両のキーがONの状態で取り付けると、感電および故障の原因となります。

🚫 本機の結合部分、スピーカーなどの穴やすき間にビンや針などの金属を入れないでください。

* 誤って差し込まれた場合は、すぐ使用を中止し取り除いてください。火災、感電、および故障の原因となります。

🚫 本機から煙が立つ、異臭がするなどの問題が発生した場合は、すぐに使用を中止してください。

* 火災などの原因となります。

🚫 本機を急激に温度が上昇する場所に長期間放置しないでください。

* 製品の変形および火災、爆発の原因となります。

🚫 コードを外すときは、必ずプラグ部分を持って外してください。また破損やキズが付いたコードは使わないでください。

* コードが損傷したまま使用すると、感電および火災の原因となります。

🚫 本機の表面はシンナー、アルコール、ベンゼンなどの揮発性物質または有機溶剤で拭かないでください。またゴムとビニールなどを長期間接觸させないでください。

* 表面の変質や塗料がはげることがあり、故障および火災の原因となります。

⚠ 本機を長時間動作した場合、レンズ部分が発熱します。直接手で触れないでください。

△ 警告

! 別体カメラは、ガラス面またはダッシュボード表面に正しく取り付けてください。

* ガラス面またはダッシュボード表面をきれいに拭いたあと、別体カメラを正しく確実に取り付けてください。正しく取り付いていない場合、別体カメラがガラス面またはダッシュボード表面から外れ運転中に交通事故が発生する可能性があります。

! 電源コードまたはソケット部のほこりや汚れはよく拭いて取り除いてください。

* 接続不良による感電および火災の原因となります。

△ 注意

! 本機に強い衝撃を与えないでください。

* 衝撃により製品の破損や故障の原因となります。

! 本機の近くに磁気性がある物を置かないでください。

* 製品の誤作動および故障の原因となります。

! オプションのGPSユニットの近くには障害になるような物を設置しないでください。

* 周りに障害物があるとGPSの受信に悪影響を及ぼすおそれがあります。

! GPS機能は初期作動時、起動するまでに時間がかかります。(オプションのGPSユニットが必要)

* 受信環境、気象状況、および車両の位置などにより、数秒から数分かかる場合があります。

! フロントガラスにメタルコーティングされた車両はGPS受信障害が発生することがあります。(オプションのGPSユニットが必要)

! トンネル入出時のよう急激に明るさが変わる場合、逆光が強い場合、夜に光源がない場合などの条件では録画品質が落ちることがあります。

! 暗い環境では、なるべく高品質で録画するために、車両のヘッドライトやフォグランプをつけてください。

! ガラスの表面や本機のカメラレンズの表面はいつもきれいにしておいてください。

* ほこりや異物による乱反射や屈折現象の発生で、きれいな映像を記録することができない可能性があります。

! 本機は、推奨取付位置に設置してください。

* 推奨位置でない場所に設置されると画面がよれことがあります。

* 車両に応じて、よい録画ができる位置(推奨取付位置)に装着してください。

! LED方式の信号機では画面がちらつく(フリッカー)ことがあります。

🚫 本機の分解、修理、または改造を絶対にしないでください。

* 故障の原因となり保証を受けることができません。

🚫 本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。

! 気温の低いところから高いところに本機を移した場合、本機内に結露が生じことがあります。

* 結露したまま使用すると故障や発熱の原因となります。使用しないでください。

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

V C C I - A

microSDカードについての取り扱い注意事項

- !** microSD カードの取り扱いには十分注意して、次の注意事項をよくお読みになりご使用ください。注意事項を守らずに発生するデータの損失および破損に関して当社は一切の責任を負いません。
- !** 付属の microSD カードをフォーマットすると記録ファイルや専用ビューアソフトは、全て消去されます。あらかじめパソコンなどにバックアップすることをおすすめします。
- !** microSD カードに保存されたデータは、バックアップして、定期的に本体にてフォーマット（推奨：週 1 回）して使用してください。外部環境、または長期間使用している間に、データが削除されるおそれがあります。
- !** microSD カードの容量によっては、起動時間が変動（長くなったり）する場合があります。
- !** 市販の microSD カードを使用した場合による、本機の動作異常に關して、当社は一切の責任を負いません。
- !** microSD カードをフォーマットする際は、必ず本体のフォーマット機能でおこなってください。
- !** microSD カードは消耗品です。一定使用期間が過ぎるとメモリーセクターの一部が損傷されて正常な録画ができない可能性があります。microSD カードによる不具合が発生した場合は、新しい指定の microSD カードと交換してください。
- !** microSD カードを取り出す際は、必ず本体の電源が切れたことを確認してから取り外してください。
* 本体の電源が入っている状態で microSD カードを取り出すと、データ損失などの原因となります。
- !** 一般的に microSD カードには、寿命があります。（各メーカーにより異なります）
* microSD カードを長期間使用している、保証期間が切れているなどの原因でデータに異常が発生した場合、新しい指定の microSD カードと交換してください。
- !** microSD カードを保管、または持ち歩くときは、必ずケースに入れてください。
* ケースに入れずに保管または持ち歩くと、静電気および外部環境の原因により内部のデータが損失されることがあります。
- !** 重要なデータは、必ず他のデバイスにバックアップしてください。
* 外部環境、または長期間使用している間に、データが上書きされ消去される場合があります。
- !** microSD カードに本製品で記録されたデータ以外を格納しないでください。
* 正しく動作しない場合があります。
- !** 指定の microSD カード以外は使用しないでください。
* 指定以外の microSD カードを使用すると、正常に動作しない場合があります。
- !** microSD カードスロットに異物を入れないでください。
* カードスロットの破損、または誤動作、故障の原因となります。
- !** 油がついた手や濡れた手で microSD カードスロットを触らないでください。
* microSD カードの損傷、または故障などの原因となります。
- !** データのバックアップ、フォーマットおよび動作中には、絶対に microSD カードを取り出さないでください。
* microSD カードを損傷し、使用できなくなるおそれがあります。
- !** microSD カードの分解、または改造などは、絶対にしないでください。
* microSD カードが破損するおそれがあります。
- !** microSD カードを落とさせたり、衝撃を与えないでください。
* microSD カードの破損、およびデータが損失されるおそれがあります。
- !** microSD カードには向きがあります。挿入するときは向きを確認して、確実に最後まで差し込んでください。
* microSD カードが正しく挿入されていないと誤動作の原因となります。
- !** 市販の microSD カードによっては認識しにくいものや、挿入、取り出しにくいものがあります。
- !** microSD カードを別に購入する場合は、必ず使用可能か確認したうえでご購入ください。
* 8GB ~ 32GB（クラス 10/SDHC 規格準拠、NAND タイプは「MLC」を推奨）
* 64GB（クラス 10/SDXC 規格準拠、UHS スピードクラス：UHS-1 以上、NAND タイプは「MLC」を推奨）
* 必ず本体にてフォーマットをおこなってください。

使用上の注意

録画についての注意事項

- ・本機は自動車などの事故における証拠として、効力を保証するものではありません。
- ・本機はすべての状況下で録画を保証するものではありません。
- ・本機の故障や使用による損害、また録画した映像の破損や損傷によって生じた損害は、当社は一切の責任を負いません。
- ・本機の動作を確認するため、急ブレーキなど危険な運転はおやめください。
- ・本機で録画した被写体は、プライバシーの侵害となる場合があります。取り扱いにご注意ください。
- ・LED 方式の信号機では画面がちらつくことがあります、色の識別ができない場合があります。それにより生じた損害は、当社は一切の責任を負いません。
- ・走行中に本機を操作したり、LED ランプやディスプレイを注視しないでください。クイック録画／撮影機能をおこなう場合、周囲の安全を確認したうえで操作してください。
- ・夜間の録画した映像にノイズが入っているように見えたり、夜間の映像が白っぽく録画されることがあります、正常動作です。
- ・録画の条件により、録画のフレームレートやビットレートが変わることがあります。
- ・電源 ON のあと、録画の開始まで時間がかかります。必ず録画が開始されたことを確認してからご使用ください。

取り付けについての注意事項

- ・本機は、本書（P11 参照）にしたがって、正しく取り付けてください。
誤った取り付けは、道路運送車両法の保安基準に違反する場合があります。また交通事故やケガの原因となります。
- ・他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を受けたり、与えたりする場合があります。
- ・本機は防水構造ではありません。必ず車内へ取り付けてください。
- ・別体カメラを取り付ける前に、必ずガラス面またはダッシュボードとマウントベースの両面テープ貼り付け部分の油分や汚れなどをしっかりと拭き取り、別体カメラを確実に取り付けてください。

パーキングモードについて

- ・パーキングモードは、必ずオプションの常時電源コード（GDO-10）を使用してください。直結配線用 DC コードなどを接続し、直接電源を供給できる状態では、パーキングモードを設定できません。
- ・パーキングモードによる車のバッテリー上がりに関して当社は一切の責任を負いません。
- ・暗い場所など録画できない場合があります。

ディスプレイについて

- ・同じ映像を長時間や繰り返し表示（短時間でも）した場合、液晶ディスプレイの性質により画面の焼付けが起こる可能性があります。これは保証の対象になりません。ディスプレイの明るさを暗く調整することで、焼付けの発生を軽減できます。
- ・液晶ディスプレイの性質により、輝点や滅点が発生したりスジ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これは保証の対象なりません。
- ・ディスプレイを太陽に向かたままにすると、故障の原因となります。車両に設置する際にはご注意ください。
- ・偏光サングラス使用時、表示が見えなくなる場合があります。

使用上の注意（つづき）

DCコードについて

- ・本機は専用のDCコード（3極DCプラグ）を使用してください。それ以外のDCコードを使用した場合、本機が正常に動作しません。

アイドリングストップ車での使用について

- ・一部のアイドリングストップ車では、再始動時に電源確保のため各部分への供給電圧が低下することがあります。これにより本体の電源が落ちる場合があります。

専用ビューアソフトについて

- ・専用ビューアソフトは、付属のmicroSDカードに格納しています。microSDカードをフォーマットするとプログラムが消去されてしまいます。あらかじめパソコンなどにバックアップすることをおすすめします。また、専用ビューアソフトはセルスター工業のWEBサイトからもダウンロードできます。（<http://www.cellstar.co.jp/products/recorder/>）

カメラレンズの注意事項

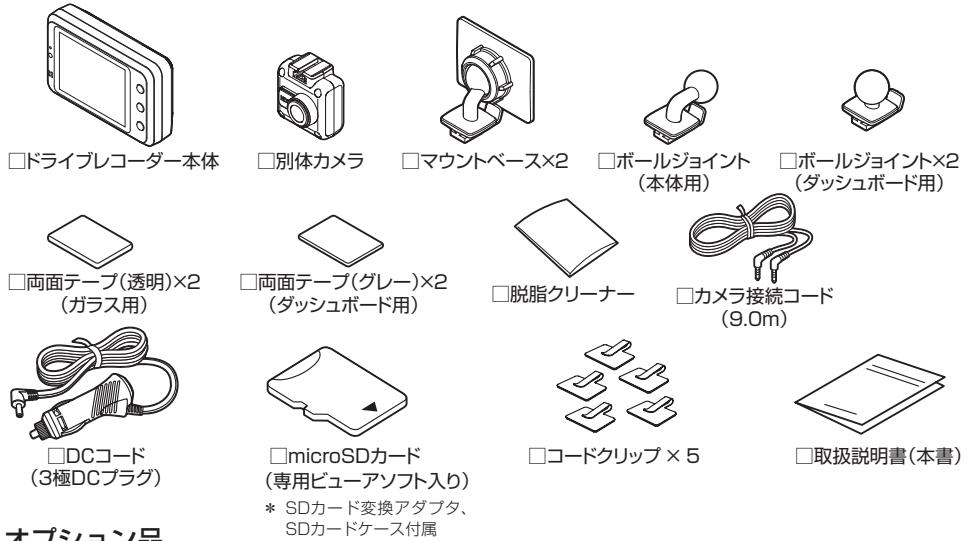
- ・本機の動作中、カメラのレンズ部分が発熱することがあります。異常動作ではありません。レンズ部分は、大変熱くなっていますので直接手で触れないようご注意ください。

本体/付属品

付属品

本機を使用する前に、必ず同梱物を確認してください。

* その他注意書きが同梱している場合がございます。



オプション品

別途お買い求めください。

ドライブレコーダー用

●GDO-09 ビデオ出力コード



録画中の映像を外部モニターに出力する場合に使用します。（P39 参照）

●GDO-10 常時電源コード(3極DCプラグ)



パーキングモード機能を利用する場合に使用します。
最大 12 時間まで電源を供給します。（P37、P38 参照）

●GDO-13 GPSユニット



●GDO-15 直結配線用DCコード(3極DCプラグ)



レーダーディテクター接続用

●レーダーディテクター互通信用コード

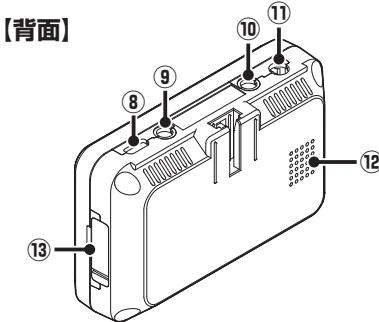
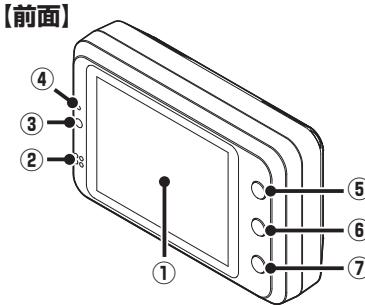


詳しくは、当社ホームページをご覧ください。

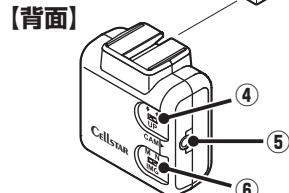
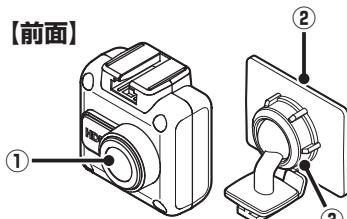
<http://www.cellstar.co.jp>

各部の名称と機能

本体



別体カメラ



- ① **ディスプレイ**
カメラの録画映像、再生、設定メニューの変更画面などを表示します。
- ② **マイク**
映像記録中の音声を録音します。
- ③ **LEDランプ**
本機の動作状態を表示します。
- ④ **リセットボタン**
本機を再起動します。
- ⑤ **Aボタン (▲)**
カーソルの上移動、音量の調整をおこないます。
*本機反転時、Cボタンの動作となります。
- ⑥ **Bボタン (ENT)**
モード切り替え: カーソルの決定と戻る、フォーマットの操作をおこないます。
- ⑦ **Cボタン (▼)**
カーソルの下移動、クリック録画、撮影をおこないます。
*本機反転時、Aボタンの動作となります。
- ⑧ **RADARソケット (相互通信端子)**
当社製レーダーディテクター相互通信用コードまたはビデオ出力コード (GDO-09) を接続します。
- ⑨ **GPS (GPS接続端子)**
オプションの GPS ユニット (GDO-13) を接続します。
- ⑩ **CAM (カメラ接続端子)**
カメラ接続コードで別体カメラを接続します。
- ⑪ **DC12V/24Vソケット**
専用の DC コード (3極 DC プラグ) を接続し、DC12V/24V を本機に入力します。
- ⑫ **スピーカー**
警告音や、ボイスガイドなどの音がおこります。
- ⑬ **microSDカードスロット**
付属または市販の microSD カードを挿入します。
* microSD カードが挿入されていないと本機は動作しません。

取り付け方法

△ 注意

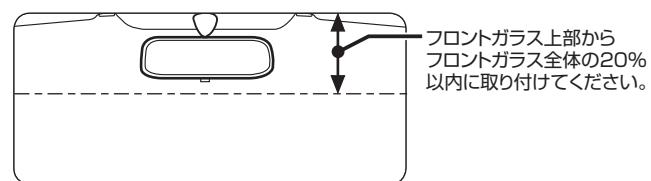
- 本機を車両に取り付ける前に、次の内容を確認のうえ取り付けてください。
- ・本機の誤った取り付けは、道路運送車両法の保安基準に違反する場合があります。正しく取り付けてください。
 - ・本機を安全に取り付けるために、取り付け作業は明るく安全な場所でおこなってください。
 - ・本機を取り付ける前には、必ず車のエンジンを止め、キーを抜いた状態で取り付けてください。
 - ・本機に専用の DC コード (3極 DC プラグ) 以外のコードを使用しないでください。
 - ・別体カメラを設置した部分のガラスは、いつもきれいに保ってください。
 - ・夜間走行時にはカーナビゲーションおよび、車両用モニターがフロントガラスに映り込み、記録画像に影響を与えることがあります。映り込み画像が撮影領域に入らないよう角度を調整してください。
 - ・本機は防水構造ではありません。雨などで本機やコードがぬれないと動作しないことがあります。ご注意ください。

△ 警告

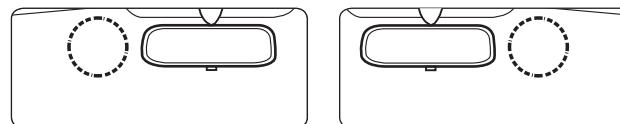
事故発生時の衝撃により別体カメラが外れる場合がございます。ガラス面またはダッシュボード表面のマウントベースの両面テープ貼り付け部分の油分や汚れを付属の脱脂クリーナーでしっかりと拭き取り、別体カメラを確実に取り付けてください。

フロントガラスに別体カメラを設置する場合 取り付け位置 (正面)

フロントガラス



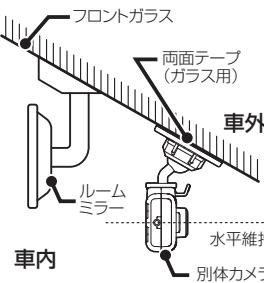
ルームミラーの後部、フロントガラスの中央に設置すると、最適の録画映像を得ることができます。



フロントガラスの中央部に設置できない場合は、広い視野角を活用してルームミラーの左、もしくは右側に設置することもできます。
中央部に設置できない場合、録画映像が片方にかたよる可能性があります。

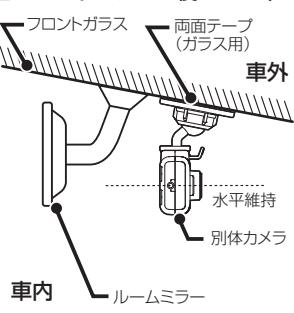
取り付け位置（側面）

一般的な乗用車

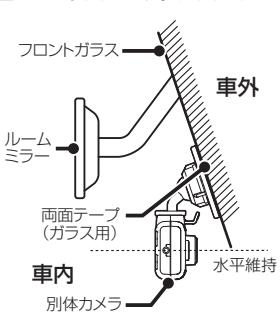


- 図のように前方を遮ることがないように取り付けてください。
- 別体カメラが取り付いた状態で、図のように別体カメラが水平を維持するように取り付けてください。図のように水平が維持できないと、正しい状態で録画できません。

フロントガラスが寝ている車

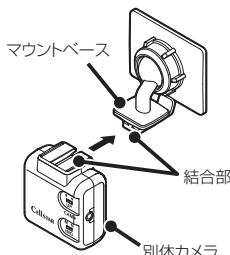


ワンボックスやトラックなど



取り付け方法

1 マウントベースと別体カメラの結合部を合わせ、矢印の方向に差し込む。

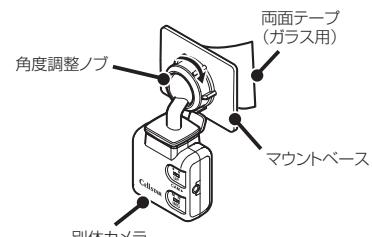


2 両面テープ（ガラス用）を使用して別体カメラを設置する場所に取り付ける。

* 推奨の設置位置を参照して、取り付けてください。

3 角度調整ノブを右側に回して別体カメラを固定する。

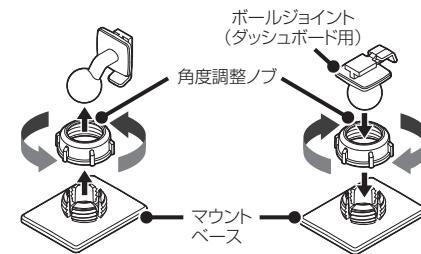
角度調整ノブを緩めると別体カメラの取り付け角度を調整できます。



* 必要に応じて、先にマウントベースを車両側に取り付けてから別体カメラを設置してください。

ダッシュボードに別体カメラを設置する場合

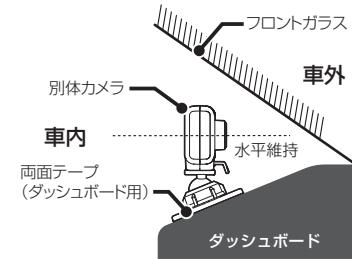
マウントベースから角度調整ノブを取り外し、ボールジョイント（ダッシュボード用）に付け替えます。



* 先にボールジョイントを角度調整ノブに差し込み、マウントベースに取り付けてください。

取り付け位置（側面）

図のように前方を遮ることがないように取り付けてください。



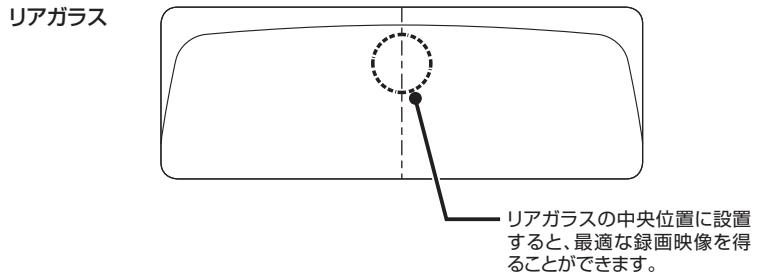
* 上下切り替えスイッチでカメラ映像を反転してください。

リアに別体カメラを設置する場合

* リアのダッシュボードに設置することもできます。

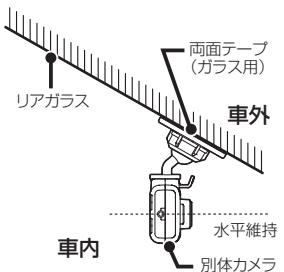
取り付け位置（正面）

図のように後方を遮ることがないように取り付けてください。

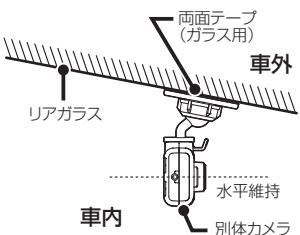


取り付け位置（側面）

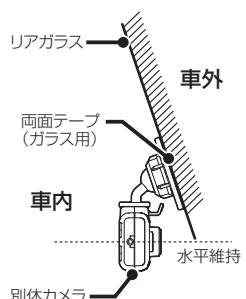
一般的な乗用車



リアガラスが寝ている車



ワンボックスやトラックなど



・図のように後方を遮ることがないように取り付けてください。

・別体カメラを取り付いた状態で、図のように別体カメラが水平を維持するように取り付けてください。図のように水平が維持できていないと、正しい状態で録画できません。

・取り付け場所によっては、リアガラスの熱線が映像の邪魔となる場合があります。

取り付け方法

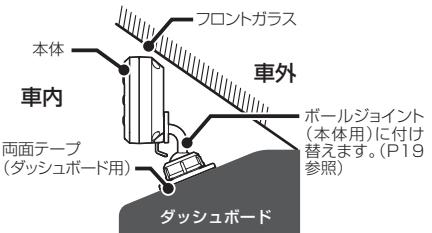
P18の取り付け方法を参照し、取り付けてください。

本体の設置

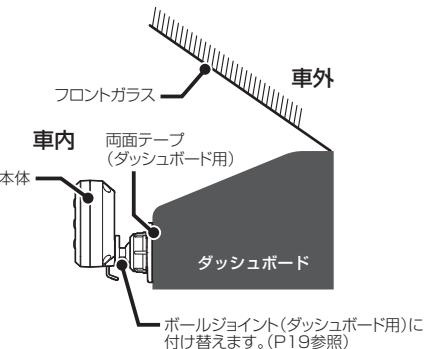
取り付け位置（側面）

図のように前方を遮ることがないように取り付けてください。

ダッシュボード上面に設置する場合

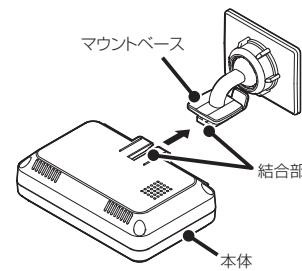


ダッシュボード正面に設置する場合



取り付け方法

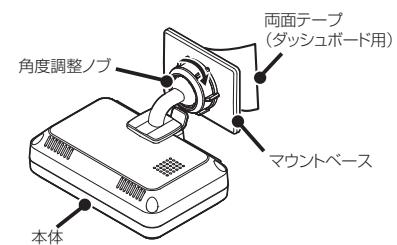
- マウントベースと本体の結合部を合わせ、矢印の方向に差し込む。



- 両面テープ（ダッシュボード用）を使用して本体を設置する場所に取り付ける。

- 角度調整ノブを右側に回して本体を固定する。

角度調整ノブを緩めると本体の取り付け角度を調整できます。



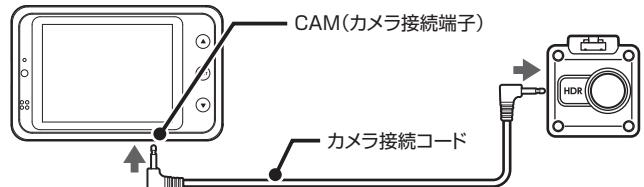
* 必要に応じて、先にマウントベースを車両側に取り付けてから本体を設置してください。

- DCソケットにDCプラグを接続する

本体と別体カメラを接続

接続方法

付属のカメラ接続コードで本体と別体カメラを接続します。



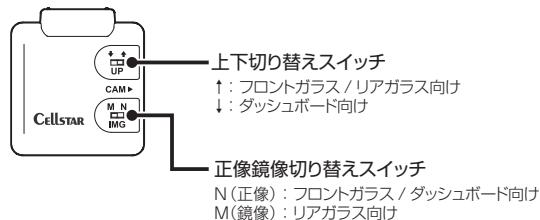
注意

- ・カメラ接続コードのプラグを奥までしっかりと差し込んでください。

別体カメラの設定

別体カメラの設置場所に合わせて別体カメラの設定を変更します。

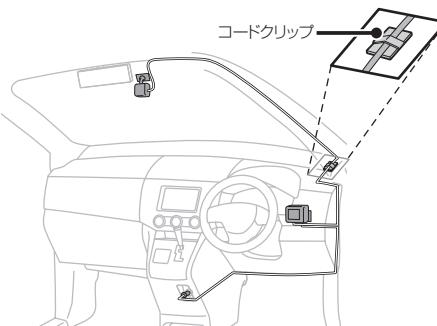
■ 推奨設定



配線処理

DCコードのプラグを車両のシガーライターソケットに接続してください。

コード類は運転の妨げとならないように、付属のコードクリップなどを利用して、配線処理してください。余分なコード類はビニールテープなどでしっかり束ねてください。コード類を表面に出したくない場合は、ガラスと内張りなどの隙間やパッキン類の隙間にれます。



注意

- ・配線の際、エアバッグの内蔵されている内張りなどの周囲では、十分に注意して作業をおこなってください。また、エアバッグの内蔵されている部品などを外さないでください。必要な場合には、必ずカーディーラーの指示を受けてください。コードが可動部分に挟み込まれたり、無理に曲げたりしないように配線処理してください。
- ・コードを車のダッシュボードなどに固定した場合は、ダッシュボードなどの材質や使用環境により、コードの被覆がダッシュボードなどに色移りする場合があります。十分ご注意ください。

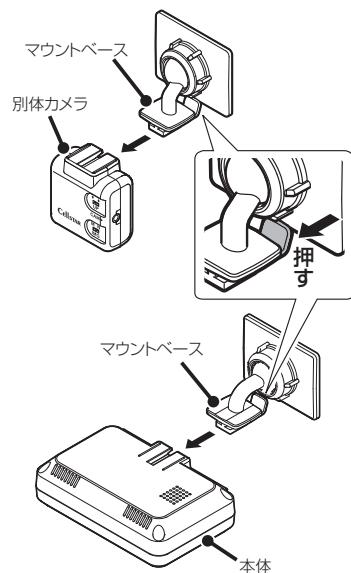
ヒューズが切れた場合

ヒューズ（1A）を交換します。



マウントベースから本体、別体カメラを取り外す

マウントベースのツメ部を押し、本体または別体カメラを矢印の方向に引き外します。



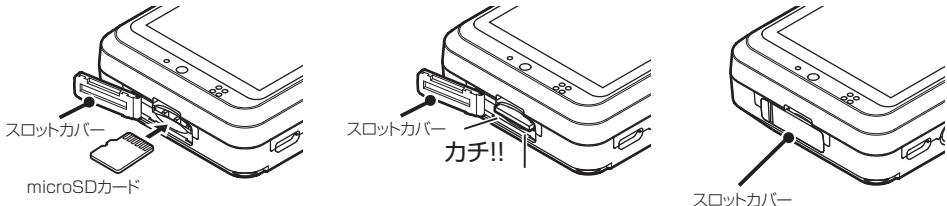
△注意

microSDカードを使う前に、次の内容を確認してご使用ください。

- microSDカードは、付属のmicroSDカードをご使用ください。
指定以外のmicroSDカードを使用されると、データの損失や記録できない可能性があります。
- microSDカードを本体電源が入った状態で抜き差ししないでください。本機が正常に動作しない場合があります。
- microSDカードを取り出すときは、本機からDCプラグを外し、必ず本体の動作LEDが消えたことを確認してください。その後microSDカードを取り出してください。
動作LEDが点灯している状態でmicroSDカードを取り出すと録画を終了することができず、記録映像が中断されるか一部分が削除されるなど、場合によってはmicroSDカードが破損するおそれがあります。
- microSDカードをフォーマットする際は、必ず本体のフォーマット機能でおこなってください。
- 付属のmicroSDカードをフォーマットすると記録ファイルや専用ビューアソフトは全て消去されます。あらかじめパソコンなどにバックアップすることをおすすめします。
- 市販のmicroSDカードによっては認識しにくいものや、挿入、取り出しにくいものがあります。
- microSDカードの容量によっては、起動時間が変動（長くなったり）する場合があります。
- microSDカードを入れ替えると、本機の設定が工場出荷時の状態になります。

microSDカードの挿入

* 必ず、本機からDCプラグを外し、本体の電源がOFFになっていることを確認してからおこなってください。



1 本体のスロットカバーをめくり、microSDカードの向きに注意してスロットに差し込む。

2 microSDカードがスロット内部に確実に差し込まれたことを確認する。

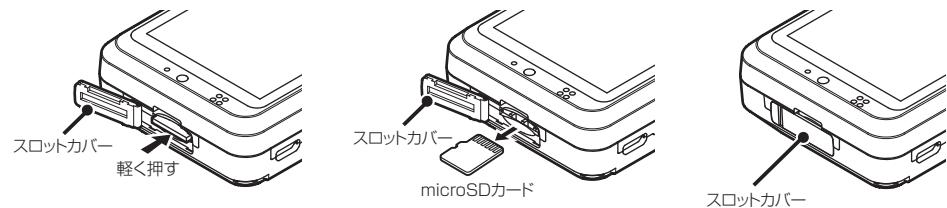
3 スロットカバーを閉じる。

△注意

- microSDカードが挿入されていないと本機は動作しません。
- microSDカードには向きがあります。差し込む向きに注意して最後まで確実に挿入してください。正しく挿入されていないとmicroSDカードの破損、および誤動作の原因になります。
- microSDカードの接続端子には手を触れないでください。汚れや異物が付着するとカード内のデータが損失するおそれがあります。

microSDカードの取り出し

* 必ず、本体のLEDが消灯し、電源がOFFになっていることを確認してからおこなってください。



1 本体のスロットカバーをめくり、microSDカードを軽く押し込む。

2 microSDカードを取り出す。

3 microSDカードを取り出したあと、スロットカバーを閉じる。

△注意

製品を使用する前に次の内容を熟知してください。

- ・車の運転中は本機の操作を絶対にしないでください。
- ・映像の記録は、microSDカードが正しく挿入されているときのみ可能です。
- ・映像の記録中にmicroSDカードが取り出されると警告音がなり、記録の映像の一部が削除される場合があります。
- ・電源ONのあと、録画の開始まで時間がかかります。必ず録画が開始されたことを確認してからご使用ください。

電源のON/OFF



■ 電源のON

本機には電源ボタンがありません。電源を入れるには、DCコードが車両に繋がっている状態で車のエンジンをかけます。

電源が投入されると、LEDが点灯し、効果音が鳴りディスプレイにオープニング画面が流れたらあと、カメラ映像が表示されます。

- * ディスプレイに画面を表示させない場合は、設定メニューの「画面表示」をオフにしてください。(P32参照)
- * 画像モード設定によりディスプレイに表示されるカメラ映像の解像度は異なります。
- * 電源をONにした時に画面の向きを自動的に反転して調整します。

■ 電源のOFF

エンジンを停止させると最後の録画ファイルを安全に保存し、LEDが消灯し、効果音のあと電源が自動的にOFFになります。

SDカードのフォーマット案内

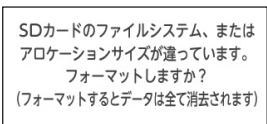
microSDカードを一定期間、フォーマットをしていなかった場合、本機の起動時に1回、効果音が鳴り、「SDカードは定期的にフォーマットしてください。」とボイスでお知らせします。必要に応じて、microSDカードをバックアップし、フォーマットしてください。(P42参照)

エラーメッセージ

■ microSDカード認識エラー

microSDカードが「挿入されていない」、「フォーマットされていない」、「破損している」などの異常が発生した場合は、LEDが消灯し、効果音が鳴り本機のディスプレイに次のようなエラーが表示されます。

- * ディスプレイに「SDカード認識エラー」を表示した場合は、microSDカードを挿入し直し (P24、25参照)、またはフォーマットをおこなってください。(P42参照)



実行

■ microSDカードファイルシステムエラー

microSDカードのファイルシステム、またはアロケーションサイズが違っています。
フォーマットしますか？
(フォーマットするとデータは全て消去されます)

■ カメラ異常エラー

カメラの初期化エラーなどが発生した場合は、LEDが消灯し、効果音が鳴り本機のディスプレイに次のようなエラーが表示されます。

- * ディスプレイに「カメラに異常があります」を表示した場合は、取り付け方法 (P17～23参照) を確認してから、本機を再起動してください。

カメラエラー
カメラの接続を確認してください。

■ カメラエラー

カメラの接続エラーなどが発生した場合は、LEDが消灯し、効果音が鳴り「カメラが接続されていません。」とボイスでお知らせし、本機のディスプレイに次のようなエラーが表示されます。

- * ディスプレイに「カメラエラー」を表示した場合は、取り付け方法 (P17～23参照) を確認してから、本機を再起動してください。

ディスプレイ

本機が起動すると、次の画面を表示します。

操作ボタンを押して、設定メニューの変更または録画映像の再生ができます。

*再生する場合は「再生モード」(P36参照)、設定メニューの変更は「設定の変更方法」(P31～33参照)をご覧ください。



■ 画面アイコンの種類

アイコン	内容
① 録画モード	常時録画
② HDR	HDR 設定がオンの時に表示します。
③ GPS	GPS を測位すると表示します。
④ パーキングモード	パーキングモードの状態を表示します。
⑤ 画像モード	画像モードCU
⑥ 3Gセンサー感度	3Gセンサー5
⑦ 音声録音	録音 オン

- * 左の画面は、オプションのGPSユニット(GDO-13)接続時のものです。
- * 設定メニューの「アイコン表示」をオフにすると非表示にできます。(P32参照)
- * インポーズ表示記録をオンにすると、映像の上に重ねて現在の日時情報、オプションのGPSユニット(GDO-13)を接続すると、現在地の緯度経度、走行速度を表示、録画できます。(P33参照)
- * インポーズ表示の内容はGPSの測位から算出するため、実際の数値と異なる場合があります。

設定メニューの「画面表示」を時計にするとデジタル時計を表示します。

22:40

お買い求めいただいたて、初めてお使いになる場合

正しい記録ができるように、あらかじめ本機に現在の日付および時間を設定してください。設定方法は40ページ「日時の設定」をご覧ください。

* オプションのGPSユニット(GDO-13)接続時は、GPSより日時を取得するため、日時の設定はできません。

録画方法

録画モードについて

本機が動作すると同時にLEDが点滅し、常時録画が自動的に開始します。

録画モードの状態は、画面のアイコンで確認できます。(P28参照)

* 記録中の音声を録音しない場合、「音声録音」をオフにしてください。(P32参照)

常時録画モードとイベント録画モード

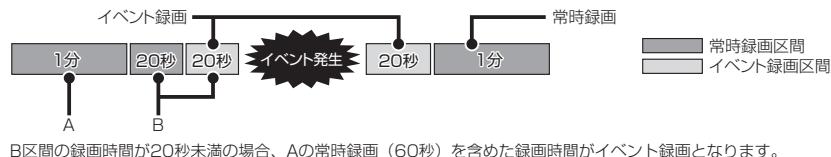
■ 常時録画モード

LEDが点滅し、1分単位で録画し続けます。



■ イベント録画モード

常時録画中にイベント（走行中の外部衝撃や事故）が発生した場合、常時録画を中断して、効果音とLEDが点滅（速い）し、イベント録画ファイル（1回最大2ファイル）を生成します。イベント録画モード後、常時録画モードに戻ります。



- * イベントとは、衝撃を検知した場合という意味で使用しています。センサーが高感度に設定されている場合、細かな衝撃も検知します。センサー感度が低感度に設定されている場合、強い衝撃のみ検知します。「3Gセンサー感度」(P32参照)で調整することができます。
- * 車や運転の状態など様々な要因により、イベント録画にならない場合があります。
- * 記録映像がmicroSDカードの容量を超えた場合、古い記録映像データから順次自動消去されます。
- * 常時録画とイベント録画で生成されたファイルは指定のフォルダに保存されます。
- * 常時録画（microSDカード総容量の70%）、イベント録画（microSDカード総容量の20%）で分割管理されています。
- * 録画モードでイベント録画（手動による撮影も含む）をおこなっている最中は、ボタン操作を受け付けません。ボタン操作をおこなう場合は、常時録画中におこなってください。
- * SDエラー監視機能によりエラーデータを削除した場合、削除した番号をスキップして映像ファイルに番号が付加されます。
- * 録画中の状況により、録画のピットレートは可変します。
- * 事故等発生した場合、録画ファイルを上書きしないよう、本機からmicroSDカードを取り出して保管してください。

microSDカードの保存先とファイル名について

録画モード	保存フォルダ名	ファイル名	最大保存容量
常時録画モード	INFINITE	通常時 : NNF_****.avi パーキングモード : PNF_****.avi	microSDカード総容量の70% (最大容量を超えた場合、古いデータから順次自動消去されます)
イベント録画モード	EVENT	通常時 : NEF_****.avi パーキングモード : PEF_****.avi	microSDカード総容量の20% (最大容量を超えた場合、古いデータから順次自動消去されます)

録画方法（つづき）

クイック録画機能（手動）

イベントを手動で録画するための機能です。記録映像はmicroSDカードの[EVENT]フォルダに保存されます。

1 本機の動作中に**Cボタン**を押す。

効果音とLED点滅（速い）し、イベント録画をおこないます。



撮影機能（手動）

録画映像を手動で撮影するための機能です。撮影した画像（JPGファイル）はmicroSDカードの[CAPTURE]フォルダに保存されます。撮影した画像は100枚（約35MB）までです。

- * 100枚を超えると古い画像から自動的に削除されます。
- * レーダーディテクターとの相互通信時、撮影モードは使用できません。

1 本機の動作中に**Bボタン**を押す。

2 AボタンまたはCボタンを押して【撮影モード】に移動し、Bボタンを押して確定する。



3 Cボタンを押し、表示している映像を撮影する。



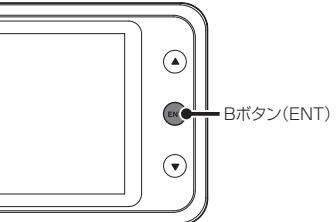
各種設定の変更

設定の変更方法
(例：アイコン表示)

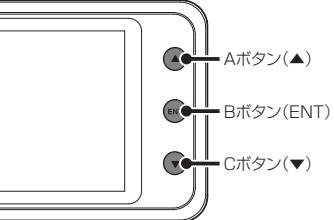
32～34ページの各設定メニューを変更する場合は、以下の手順でおこないます。

専用ビューアソフトで本体の設定も可能です。詳しくは、付属のmicroSDカードに収録している専用ビューアソフトの説明書をご覧ください。

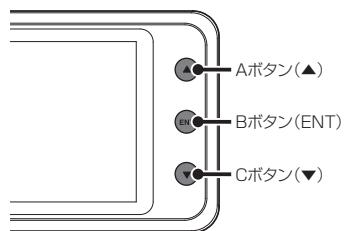
- * 設定中は、録画はできません。
- 設定メニュー画面にて1分以上操作がない場合は、自動的に録画モードに切り替わります。

1 本機の動作中に**Bボタン**を押す。

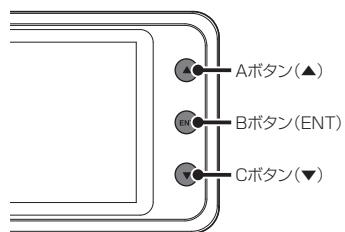
2 AボタンまたはCボタンを押して【設定モード】に移動し、Bボタンを押して確定する。



3 AボタンまたはCボタンを押して変更する設定項目を選び、Bボタンを押して確定する。



4 引き続き他の設定を変更する場合は、Bボタンを長押しして設定モードに戻り、AボタンまたはCボタンを押して設定メニューを選ぶ。



設定一覧

メインメニュー	設定値	設定内容
カスタム : 録画画質などの設定をお好みで設定できます。（P34 参照） 設定方法は、35 ページを参照してください。		
画像モード設定	高画質	標準 : 録画画質を標準的な設定にします。 高画質 : 録画画質を高画質に適した設定にします。 長時間 : 録画画質を長時間録画に適した設定にします。
HDR 設定	オン	オン : HDR 合成をおこないます。 オフ : HDR 合成をおこないません。
音量調整	2	3 : 音量を（大）にします。 2 : 音量を（中）にします。 1 : 音量を（小）にします。 (P43 参照) 0 : 音量を（無）にします。
音声録音	オン	オン : 音声録音をおこないます。 オフ : 音声録音をおこないません。
3G センサー感度	5	10 : 3G センサーを高感度に設定します。 9 8 7 6 5 4 3 2 1 : 3G センサーを低感度に設定します。 カスタム : 3G センサーの設定をお好みで設定できます。（P34 参照）
画面明るさ	3	4 : ディスプレイの輝度を最大にします。 3 2 1 : ディスプレイの輝度を最小にします。
ディマー	オン	オン : ディマー機能を設定します。 オフ : ディマー機能を設定しません。
ボイス	オン	オン : 音声案内をおこないます。 オフ : 音声案内をおこないません。
カメラズーム	オフ	オフ : 等倍で録画します。 2 倍 : 2 倍拡大で録画します。 4 倍 : 4 倍拡大で録画します。
画面表示	オン	オン : カメラ映像を表示します。 オフ : 画面表示しません。 時計 : ディスプレイに時計を表示します。
アイコン表示	オン	オン : ディスプレイにアイコンを表示します。 オフ : ディスプレイにアイコンを表示しません。

* 設定値は初期設定のものです。

* の部分は、レーダーディテクターとの相互通信時は設定できません。

設定一覧（つづき）

メインメニュー	設定値	設定内容
インポーズ表示・記録 : 録画映像の画面に日付情報、現在地の緯度経度、走行速度を表示および記録します。 * の部分は、GDO-10接続時のみ設定項目が表示されます。		
インポーズ表示・記録	オン	オン : 録画映像の画面に日付情報、現在地の緯度経度、走行速度を表示および記録します。 オフ : 録画映像の画面に日付情報、現在地の緯度経度、走行速度を表示および記録しません。
V-OUT (ビデオ出力) : 外部モニターに録画中の映像を出力します。 * 外部モニターなどへの接続方法は、39ページを参照してください。		
V-OUT (ビデオ出力)	オフ	オン : 外部モニターに録画中の映像を出力します。 オフ : 外部モニターに録画中の映像を出力しません。
録画モード	常時+イベント	常時 : 常時録画（1 分単位）します。 常時+イベント : 常時+イベント録画します。
パーキングモード	オフ	オン 常時 : 常時録画（1 分単位）します。 オン 常時+イベント : 常時+イベント録画します。 オフ : パーキングモードをおこないません。
パーキングモード感度	5	10 : パーキングモード中のイベント録画の 3G センサーを高感度に設定します。 9 8 7 6 5 4 3 2 1 : パーキングモード中のイベント録画の 3G センサーを低感度に設定します。
位置情報取得	オン	オン : GPS から位置情報を取得し記録、表示します。 オフ : GPS から位置情報を取得しません。
日時	—	日時情報を変更します。
フォーマット	—	フォーマットの操作方法は、42 ページを参照してください。

* 設定値は初期設定のものです。

* の部分は、GDO-10接続時のみ設定項目が表示されます。

画像モード設定「カスタム」時、設定内容一覧

設定内容をお好みで変更できます。

* 設定値は初期設定のものです。

カスタム	設定値	設定内容
画像	FHD	: 録画画像を FullHD (1920×1080) サイズに設定します。
	HD	: 録画画像を HD (1280×720) サイズに設定します。
	D1	: 録画画像を D1 (720×480) サイズに設定します。
画質	高	: 録画画質を高画質に設定します。
	標準	: 録画画質を標準画質に設定します。
	低	: 録画画質を低画質に設定します。
明るさ	中	: 録画画像の輝度を最大（明るく）に設定します。
	明	: 録画画像の輝度を標準に設定します。
	暗	: 録画画像の輝度を最小（暗く）に設定します。
コントラスト	中	: 録画画像のコントラストを最大に設定します。
	高	: 録画画像のコントラストを標準に設定します。
	中	: 録画画像のコントラストを最小に設定します。

* Bボタンを長押しすると1つ前のメニューに戻ります。

画像モード設定「標準/高画質/長時間」時、設定内容一覧

設定内容は変更できません。

設定内容	画像モード設定		
	標準	高画質	長時間
画像	HD	FHD	D1
画質	標準	高	低
明るさ	中	中	中
コントラスト	中	中	中

3Gセンサー感度「カスタム」時、設定内容一覧

設定内容をお好みで変更できます。

カスタム	設定値	設定内容
前後	10	: 3G センサーを高感度に設定します。
	9	
	8	
	7	
	6	
	5	
	4	
	3	
	2	
左右	5	: 3G センサーを低感度に設定します。
	1	: 3G センサーをオフに設定します。
上下	オフ	: 3G センサーをオフに設定します。

* Bボタンを長押しすると1つ前のメニューに戻ります。

画像モード設定

画像モード設定では、録画画像の画質や画像サイズなど細かな設定を各モードにあわせた最適な内容に設定してあります。走行時の状況やお好みにあわせて変更することができます。

* 設定中は、録画できません。



- 1 本機の動作中にBボタンを押す。
- 2 AボタンまたはCボタンを押して【設定モード】に移動し、Bボタンを押して確定する。
- 3 AボタンまたはCボタンを押して【画像モード設定】に移動し、Bボタンを押して確定する。
「画像モード設定」画面に切り替わります。



- 4 AボタンまたはCボタンを押して設定したい画像モードを選択し、Bボタンを押して確定する。
「標準/高画質/長時間」を選んだ場合は、手順終了です。
「カスタム」を選んだ場合は、手順4へ。



- 5 AボタンまたはCボタンを押して設定したい設定項目に移動し、Bボタンを押して確定する。(例: 明るさ)



- 6 AボタンまたはCボタンを押して変更する設定内容を選択し、Bボタンを押して確定する。(例: 明)
- 7 引き続き他の設定項目を変更する場合は、手順4から手順5の操作をおこなってください。

再生モード

録画した記録映像を本機のディスプレイで再生することができます。

* 再生モード中は、録画できません。

* 外部モニターなどに本機で記録した映像を再生することはできません。必ず本機のディスプレイにて再生をおこなってください。

1 本機の動作中に**Bボタン**を押す。



2 **Aボタン**または**Cボタン**を押して【再生モード】に移動し、**Bボタン**を押して確定する。
「再生モード」画面に切り替わります。



3 **Aボタン**または**Cボタン**を押して【常時】または【イベント】を選択し、**Bボタン**を押して確定する。
「再生ファイル」画面に切り替わります。
Bボタンを長押しすると再生モードを終了します。



4 **Aボタン**または**Cボタン**を押して再生したいファイルを選択し、
Bボタンを押して確定する。
本機のディスプレイで再生が開始されます。
再生ファイルが多い場合は、本体側面の【Aボタン】または【Cボタン】を押し、ページをスクロールさせます。

再生中に**Bボタン**を押す：「再生ファイル」画面に戻る

- * ファイルは、記録された時間の順に表示されます。
- * 再生ファイルは、常時録画1分です。
- * 再生中に**Bボタン**を押すとファイル選択画面に戻ります。
- * ファイル名は実際の製品と異なります。

パーキングモードについて

オプションの常時電源コード（GDO-10）を使用するとタイマー機能、電圧監視機能により、最大12時間本機に電源を供給します。

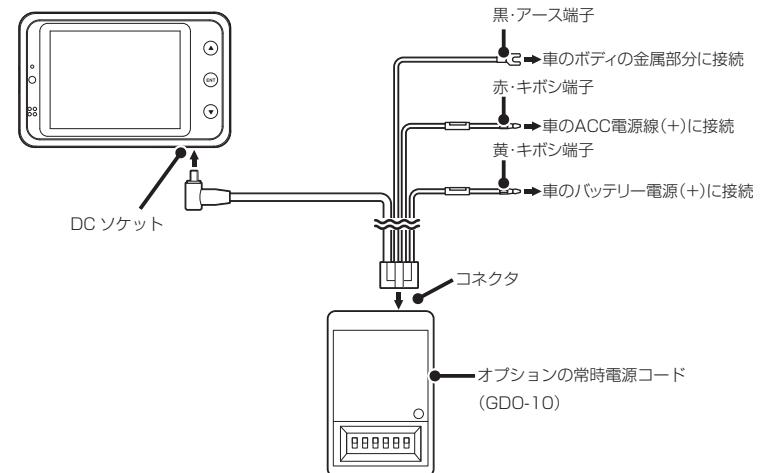
録画方式は常時録画（1分単位連続）、常時録画+イベント録画から選択できます。

パーキングモードは、エンジンを停止しACCがOFFになってから約6秒後に作動します。（画面が消え、LEDが遅く点滅します。）エンジンを始動し、ACCがONになると、約6秒後にパーキングモードを解除し、常時録画をおこないます。

⚠ 警告

- ・パーキングモードは、必ずオプションの常時電源コード（GDO-10）を使用してください。直結配線用DCコードなどを接続し、直接電源を供給できる状態ではパーキングモードを設定できません。
- ・パーキングモードによる車のバッテリー上がりに関して当社は一切の責任を負いません。
- ・暗い場所など録画できない場合があります。
- ・パーキングモードの設定を「オフ」にしても電源が供給されます。完全に電源の供給をオフにするには、常時電源コード（GDO-10）の時間設定を「0時間」にしてください。
- ・パーキングモードは、周囲の状況により、正常に動作しない場合があります。
- ・オプションの常時電源コード（GDO-05）は使用できません。

■ 取り付け方法

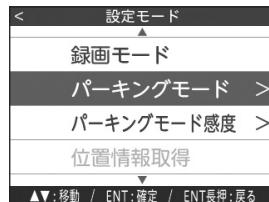


- * オプションの常時電源コード（GDO-10）に付属の取扱説明書をよく読み、正しく設定の上、ACCがOFFの時に接続してください。
- * 本機がオプションの常時電源コードを認識できない場合やパーキングモード中、DCコードを抜いた場合、エンジンをOFFにし、本体LED消灯を確認後、エンジンをかけなおしてください。

パーキングモードの録画仕様について

画像	D1
画質	低
明るさ	中
コントラスト	中
GPS	オフ

- * パーキングモードのバッテリー電源供給時間は、常時電源コード（GDO-10）のディップスイッチの設定で動作します。詳しくは、オプションの常時電源コードに付属の取扱説明書をお読みください。

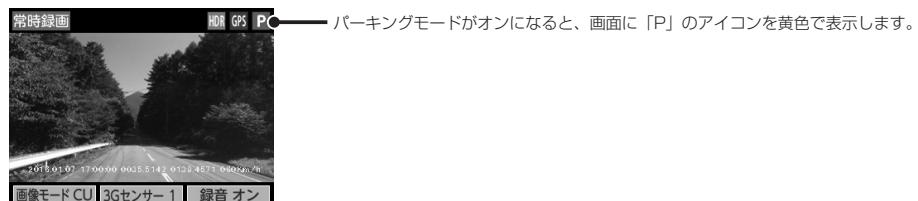


- 1 本機の動作中に**Bボタン**を押す。
- 2 **Aボタン**または**Cボタン**を押して【設定モード】に移動し、**Bボタン**を押して確定する。
- 3 **Aボタン**または**Cボタン**を押して【パーキングモード】に移動し、**Bボタン**を押して確定する。



- 4 **Aボタン**または**Cボタン**を押して録画モードを選択し、**Bボタン**を押して確定する。

* 録画モードはP29参照。



パーキングモードの動作

エンジンを停止し、ACCがOFFになってから6秒後、パーキングモードが作動し、画面が消え、LEDが遅く点滅します。

- ・パーキングモードの動作中、Cボタンを押すと、LEDが速く点滅し、クイック録画をおこないます。録画後、LEDが遅く点滅します。
- ・パーキングモードの動作中、V-OUT（ビデオ出力）はオフになります。

パーキングモードの動作中、イベントが発生した場合

パーキングモードを解除した際に「イベント録画ファイルがあります。」と音声出力し、「P」のアイコンを赤色で表示します。

- * パーキングモード中のイベント録画の感度は、パーキングモード感度にて調整してください。

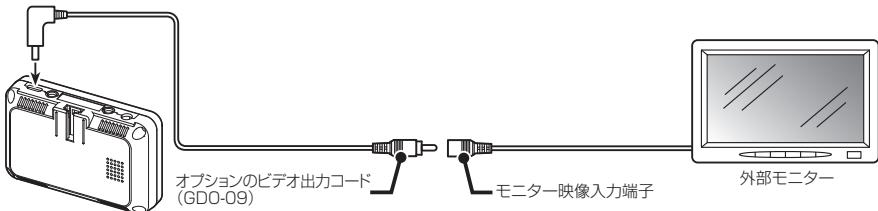
外部モニター表示

オプションのGDO-09で本体と外部モニターを接続すると、ディスプレイの映像が外部モニターに表示できます。（映像のみ、音声は出力されません）



・外部モニターなどに本機で記録した映像を再生することはできません。必ず本機のディスプレイにて再生をおこなってください。

■ 外部モニターとの接続



- * ディスプレイに戻す場合は、Bボタンを押してください。オプションのビデオ出力コード（GDO-09）を外しても自動で切り替わりません。
- * 必ずオプションのビデオ出力コード（GDO-09）をご使用ください。他のコードを使用すると映像が正しく表示されない、または誤動作を起こす場合があります。
- * モニターの種類によっては端子の形状が異なる場合があります。
- * 電源ON時、一時画像が乱れることがありますが、異常動作ではありません。

日時の設定

日付および時間を設定することができます。

* 設定中は、録画できません。

△注意

- 正しく日時を設定しないと、ディマー機能は動作しません。
- 初めて動作した時や長時間動作していなかった場合は、再度設定が必要です。
- オプションのGPSユニット（GDO-13）接続時、GPSより日時を取得するため、日時の設定はできません。

1 本機の動作中に**Bボタン**を押す。



2 AボタンまたはCボタンを押して【設定モード】に移動し、Bボタンを押して確定する。

3 AボタンまたはCボタンを押して【日時】を選択し、Bボタンを押して確定する。

4 AボタンまたはCボタンを押して現在の日付および時間を入力する。



A/Cボタン : 選択した日時のアップダウン
Bボタン : 設定した日時の確定、移動

システムリセットと強制初期化

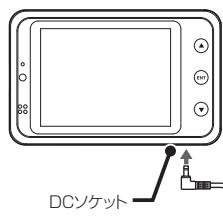
本機が誤動作したり、止まってしまった場合、システムリセットまたは強制初期化をおこなってください。

システムリセット



1 ピンなどを使用してリセットボタンを押す。
本機がリセットされ、再起動します。

強制初期化



1 DCコードのプラグを抜き、電源をOFFにする。
2 Aボタンを押しながらDCコードのプラグを接続する。
microSDカードを強制的にフォーマットし、本機が初期化されます。

フォーマット

△ 注意

- この機能を使用すると、録画したデータはすべて消去されます。必要に応じて記録データのバックアップをおこなってください。
- microSDカード内の録画したデータが破損した際、製品本体で異常状態を確認できない場合があります。定期的（1週間に1回を推奨）にmicroSDカードをフォーマットしてください。
- フォーマットは必ず本体にておこない、本体以外でのフォーマットは絶対におこなわないでください。

1 本機の動作中に**Bボタン**を押す。

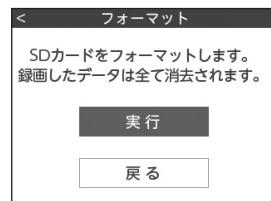


2 AボタンまたはCボタンを押して【設定モード】に移動し、Bボタンを押して確定する。

3 AボタンまたはCボタンを押して【フォーマット】を選択し、Bボタンを押して確定する。

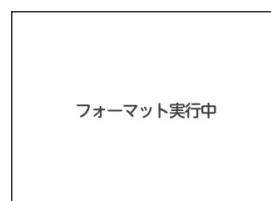
4 AボタンまたはCボタンを押して【実行】を選択し、Bボタンを押して確定する。

【戻る】：「設定モード」画面に戻る
* 常時録画中にBボタンを10秒長押しすることでもこの画面に移行できます。



5 AボタンまたはCボタンを押して【実行】を選択し、Bボタンを押して確定する。

【戻る】：「フォーマット」画面に戻る

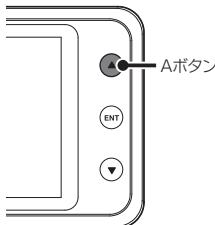


✓ アドバイス

- 本機の動作中、Bボタンを長押しすると、フォーマット機能に移動します。

音量調整

本機のスピーカーから出力される音量を調整します。



1 本機の動作中に**Aボタン**を押す。

Aボタンを押す度に効果音が鳴り、音量が3→2→1→0→3の順で調整されます。

HDR機能について

本機はHDR（ハイダイナミックレンジ）による画像合成技術により、急激な明るさの変化が発生しても、白と黒や黒ぶれを低減して録画します。（初期値：オン）



1 本機の動作中に**Bボタン**を押す。

2 AボタンまたはCボタンを押して【設定モード】に移動し、Bボタンを押して確定する。

3 AボタンまたはCボタンを押して【HDR設定】に移動し、Bボタンを押して確定する。

4 AボタンまたはCボタンを押してHDR設定を選択し、Bボタンを押して確定する。



HDR : オフ



HDR : オン



△ 注意

- 映像の明るさを一定に保つ機能によりトンネルのように明るいところから暗いところに移動した場合、映像の明るさが変化し、録画されることがあります。

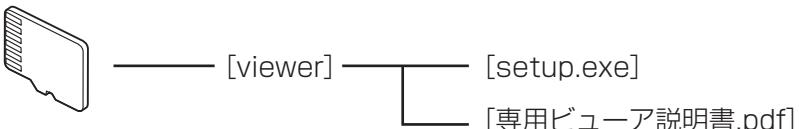
ドライブレコーダー専用ビューアソフトについて

本機で録画した映像の記録データの確認や本機の設定をパソコンでおこなうことができます。

専用ビューアソフトの動作環境

- ・CPU: Pentium 4 以上
- ・OS: Windows Vista / 7 / 8 / 10 以上
- ・メモリ: 1GB 以上
- ・HDD: 4GB 以上
- ・GPU: DirectX 9.0c 以上に対応するGPU

専用ビューアソフトと専用ビューアソフトの説明書は、付属のmicroSDカードに格納しています。



専用ビューアソフトの使い方は、「専用ビューア説明書.pdf」をご覧ください。

「setup.exe」を起動すると専用ビューアソフトのインストーラーが起動します。

専用ビューア説明書の手順にしたがってインストールしてください。

専用ビューアソフトと専用ビューア説明書は、弊社ホームページの製品ページからもダウンロードできます。

<http://www.cellstar.co.jp/products/recorder/>

故障かな？と思ったら

修理をご依頼される前に、もう一度次のことをご確認ください。

症状	考えられる原因	参照
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ・DCコードは、シガーライターソケットに接続されていますか。 ・本機のDCジャックとDCコードは接続されていますか。 ・シガーライター用DCコードのヒューズが切れていませんか。 ・本機は専用のDCコード（3極DCプラグ）を使用してください。 	P21, P23
起動時間が長い	<ul style="list-style-type: none"> ・microSDカードは正しく挿入されていますか。 * microSDカードが挿入されていないと本機は動作しません。 	P24
録画が開始されない	<ul style="list-style-type: none"> ・microSDカードは正しく挿入されていますか。 * microSDカードに異常がある場合もエラーとなり録画が開始されません。その場合は、microSDカードを取り換えてご使用ください。その際は指定のmicroSDカードをご使用ください。 	P12 P24-P25
急ブレーキや急加速のときでも、データが保護されない。 または直ぐに反応してしまう	<ul style="list-style-type: none"> ・「3Gセンサー感度」を調整してください。 * 使用状況に合わせて、この設定を調整することをお勧めします。 	P32
ひんぱんにイベント録画される または録画されない	<ul style="list-style-type: none"> ・「3Gセンサー感度」を調整してください。 * 使用状況に合わせて、この設定を調整することをお勧めします。 	P32
画面を表示しない	<ul style="list-style-type: none"> ・画面がオフになっていませんか。 ・V-OUT（ビデオ出力）がオンになっていませんか。 	P32 P33
再起動する	<ul style="list-style-type: none"> ・本機に異常があった場合、連続動作するために自動的に再起動し復帰しますが、異常動作ではありません。 	—
欠落した番号の映像ファイルがある	<ul style="list-style-type: none"> ・SDエラー監視機能によりエラーデータを削除した場合、エラーデータの番号をスキップして映像ファイルに番号を付加します。 	P29
録画したデータと実際の走行状況が違う	<ul style="list-style-type: none"> ・オプションのGPSユニット（GDO-13）の接続時は日時、車両の走行速度、位置情報、レーダーディテクターとの相互通信時（OBD II未接続）は、車両の走行速度、位置情報をGPSの測位から算出するため、実際の数値と異なる場合があります。 	—
パーキングモードを設定できない	<ul style="list-style-type: none"> ・本機が常時電源コード（GDO-10）を認識していません。エンジンをかけなおしてください。 	—

■CSD-610FHRの仕様

	撮像素子	200万画素 SONY Exmor CMOS センサー
	フレームレート	30fps
	視野角	水平 107°、垂直 56°、対角 130°
	F値	2
	最低被写体照度	3LUX
	録画画素数	200万画素 (FullHD) / 100万画素 (HD) / 35万画素 (D1)
録画画質	FullHD	高画質 (12Mbps) / 標準 (10Mbps) / 低画質 (8Mbps)
	HD	高画質 (7Mbps) / 標準 (5Mbps) / 低画質 (3Mbps)
	D1	高画質 (2Mbps) / 標準 (1.5Mbps) / 低画質 (1Mbps)
録画画角	FullHD	水平 107°、垂直 56°、対角 130°
	HD	水平 107°、垂直 56°、対角 130°
	D1	水平 80°、垂直 50°、対角 97.5°
	録画圧縮	録画 AVI (H.264)、静止画 JPG
	録画トリガ	常時録画 / 常時録画+イベント録画 / クイック録画
	GPS	無し
	3G センサー	有り (-2G から +2G 衝撃感度 10段階)
	対応外部記憶媒体	microSD カード 8GB ~ 32GB (クラス 10/SDHC 規格準拠、NAND タイプは「MLC」を推奨) 64GB (クラス 10/SDXC 規格準拠、UHS スピードクラス : UHS-1 以上、NAND タイプは「MLC」を推奨)
	記録データ	日時、加速度、走行速度*、位置情報*、映像ファイル * オプションのGPSユニット (GDO-13)、レーダーディテクターとの相互通信のみ
	音声録音	有り (オン、オフ設定可)
	外部映像出力	有り (付属ディスプレイか外部どちらか一方のみ) * 再生時無し
	電源電圧	DC12V/24V
	動作温度範囲	-10°C ~ +60°C
	サイズ	本体: 80 (W) × 23 (D) × 51 (H) mm (突起部含まず) * マウントベース取り付け時72 (H) mm カメラ: 35 (W) × 18 (D) × 35 (H) mm (突起部含まず) * マウントベース取り付け時65 (H) mm
	重量	本体: 66g カメラ: 21g

* 「ドライブレコーダー協議会ガイドライン」に基づく表記。

* 録画の条件により、録画のフレームレートやビットレートが変わることあります。

■撮影可能時間の目安

常時録画 / microSD カードの容量	録画品質			
	高画質	標準	低画質	
8GB	FullHD	約 60 分	約 70 分	約 90 分
	HD	約 95 分	約 135 分	約 215 分
	D1	約 290 分	約 370 分	約 505 分
16GB	FullHD	約 120 分	約 145 分	約 180 分
	HD	約 195 分	約 270 分	約 430 分
	D1	約 585 分	約 745 分	約 1015 分
32GB	FullHD	約 245 分	約 295 分	約 365 分
	HD	約 390 分	約 545 分	約 860 分
	D1	約 1175 分	約 1490 分	約 2035 分
64GB	FullHD	約 495 分	約 595 分	約 730 分
	HD	約 785 分	約 1090 分	約 1720 分
	D1	約 2355 分	約 2985 分	約 4070 分

イベント録画 / microSD カードの容量	録画品質			
	高画質	標準	低画質	
8GB	FullHD	約 15 分	約 20 分	約 25 分
	HD	約 25 分	約 35 分	約 60 分
	D1	約 80 分	約 105 分	約 145 分
16GB	FullHD	約 35 分	約 40 分	約 50 分
	HD	約 55 分	約 75 分	約 120 分
	D1	約 165 分	約 210 分	約 290 分
32GB	FullHD	約 70 分	約 85 分	約 100 分
	HD	約 110 分	約 155 分	約 245 分
	D1	約 335 分	約 425 分	約 580 分
64GB	FullHD	約 140 分	約 170 分	約 200 分
	HD	約 220 分	約 310 分	約 490 分
	D1	約 670 分	約 850 分	約 1160 分

撮影の状況、被写体などにより記録されるファイルサイズは一定でないため、記録可能時間に差が生じる場合があります。上記は、あくまでも目安となります。

ご依頼される前に必ず取扱説明書（本書）をお読みいただき、修理受付票と、裏表紙の保証書にご記入の上、修理依頼品と一緒に添付してお送りください。

お客様ご記入欄

お客様名：	ご住所：□□□-□□□□
ご自宅電話番号：	
FAX番号：	
日中ご連絡可能な電話番号：	<input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> ご勤務先 <input type="checkbox"/> その他（ ）

ご購入日：

同梱した付属品：合計（ ）点

①

・お預かりした製品に付属のmicroSDカードのデータは、弊社でバックアップをおこないません。修理の内容によってmicroSDカードを初期化することがあります。いかなる場合でもデータの補償はいたしません。ご了承ください。

※本項目のご署名が無い場合、修理をせずにご返却させていただきます。

本項の内容について同意します。ご署名お見積り連絡： 不要 / 必要（ ）円以上の修理の場合に連絡

※不要を選択の場合、お見積りの連絡はいたしません。なお、お見積り金額に関わらず、修理させていただきます。

具体的な症状： 常に発生する 時々発生する 特定の条件で発生する

できるだけ詳しくご記入ください。

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

修理品返却先 ※上記住所以外への返却の場合にご記入ください。

お客様名：

ご住所：

ご自宅電話番号：

アフターサービスについて

元めじば	基本操作	各種設定	準備	取り付けと
サービスアフター	サポート	困ったときは	元めじば	

保証書

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえお受け取りになり、保証内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

本証は、弊社の厳密な検査のもと生産、出荷されたものであることを証明し、本証の保証期間内に正常な使用状態において故障した場合には、本証記載内容のとおり無料で修理および調整をおこなうことをお約束するものです。修理をご依頼する際には修理受付票（P50参照）も併せてご記入ください。

製品名 : CSD-610FHR	お買い上げ年月日 : 年 月 日
販売店様 ※必ず、ご記入ください。	保証期間 3年 お買い上げ 年月日から 3年間有効
ご住所 :	
お電話 :	印

以下の場合は保証の対象外となります。

- ①本製品に付属の取扱説明書に記載された使用方法や注意事項に反した取扱によって生じた故障・破損
- ②誤用・乱用および取扱不注意による故障
- ③火災・地震・風水害・落雷・その他天災地変や公害・塩害・水掛けり・異常電圧による故障
- ④不当な修理に起因する故障や、分解・改造の痕跡がみられる故障
- ⑤使用中に生じた傷など外観上の変化
- ⑥保存状態が適切でなかった場合
- ⑦業務目的でご使用になった場合
- ⑧バッテリー・ディスプレイなど消耗品および付属品の交換
- ⑨本証の提示がない場合
- ⑩本証の所定事項（お買い上げ日、販売店名など）に記入がない場合

- ・取付不良、接続不良、不適切な使用状態による車の故障や事故などの附隨的損害の補償については一切この責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- ・本証は日本国内においてのみ有効です。また本証の再発行はいたしかねますので大切に保存ください。

修理・点検をご依頼される際の注意事項

設定の記憶やお客様が情報を登録できる製品につきまして、修理・点検作業の際、本製品は工場出荷状態にもどります。お客様が設定した内容や、記録した位置データなどはすべて消去されます。あらかじめご了承ください。

販売店様へのお願い 保証書欄にお買い上げ年月日、店名、ご住所、お電話番号をご記入の上、お客様へお渡しください。

お客様相談窓口

■電話でのお問い合わせ

<個人のお客様> カスタマーサービス
[受付時間] 9:00~18:00(土日・祝日および、弊社休業日を除く)
0570-006867 (ナビダイヤル)
0120-75-6867 (フリーダイヤル)
携帯電話・PHS・IP電話などフリーダイヤルがご利用になれない場合 : 0570-006867

<法人のお客様> セルスター工業株式会社 本社 (代)

[受付時間] 9:00~18:00(土日・祝日および、弊社休業日を除く)
TEL.046-273-1100 (代) / FAX.046-273-1106

■メールでのお問い合わせ

弊社ホームページのよくあるご質問(FAQ)より質問を送信してください。
<https://faq.cellstar.co.jp/>



セルスター工業 拠点一覧

■北海道地区 札幌営業所

〒004-0842 北海道札幌市清田区清田二条3-2-1
TEL.011-882-1225 (代) / FAX.011-881-7251

■東北地区 仙台営業所

〒981-3117 宮城県仙台市泉区市名坂字原田158
TEL.022-218-1100 (代) / FAX.022-218-1110

■北関東・新潟地区 水戸営業所

〒310-0903 茨城県水戸市堀町795-2
TEL.029-254-6911 (代) / FAX.029-255-1420

■関東地区 本社

〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野7-17-29
TEL.046-273-1100 (代) / FAX.046-273-1106

■東海・北陸地区 名古屋営業所

〒453-0021 愛知県名古屋市中村区松原町5-7-1
TEL.052-307-5733 (代) / FAX.052-307-5737

■関西・中国・四国地区 大阪支店

〒562-0004 大阪府箕面市牧落3-8-7
TEL.072-722-1880 (代) / FAX.072-722-5575

■九州・沖縄地区 福岡営業所

〒811-1314 福岡県福岡市南区の場二丁目15番16号
TEL.092-588-1101 (代) / FAX.092-588-0057

名称、所在地、電話番号は変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

[全国自動車用品工業会会員] [一般社団法人ドライブレコーダー協議会会員] <https://www.cellstar.co.jp>
[一般社団法人日本自動車部品工業会会員] [東京都自動車部品組合会員]

CellSTAR® セルスター工業株式会社